

第7回 土木計画学公共政策デザインコンペ 応募要項

◆ 内容

学生による新しい都市のあり方に関する提案を募集します。実際の社会や都市を対象として、自ら問題を発見し、対策を企画し、実践の手立てを提案するもの、あるいは既に実践を試したもののいずれも可とします。提案内容としては、下記のようなものを期待しています。

- ・都市の活性化に繋がる提案全般
- ・比較的身近な狭い範囲内であっても、個々の地域において高い効果が得られると考えられる提案

◆ 賞

土木計画学委員会賞(若干数)、黒川賞(1点) 北村賞(1点)

◆ 審査員

春大会代表幹事(ならびに学会参加者)

黒川光: 計量計画研究所 代表理事

小林潔司: 京都大学 教授

◆ 審査方法と審査基準

ポスター(A0版2枚分のサイズ以内)並びにプレゼンテーションを総合的に評価して審査します。なお、審査経過・ならびに審査結果に関する問い合わせは、ご遠慮ください。

土木計画学委員会賞

会場で参加者が行う投票を参考にしつつ、以下の審査基準に基づいて、春大会代表幹事が選考します。

- ・創造性、実現性(企画力)、公共性、社会性、多元性、協働性(マネジメント能力)、論理性に優れたもの
- ・学生という立場で土木計画を実践的に考え、幅広く十分な調査・分析を経て具体的な提案をしているもの

黒川賞

以下のいくつかの点において優れていること。

- ・提案内容が地域の文脈を十分に配慮していること
- ・公共政策にふさわしいビジョンや目標を指し示すもの
- ・合意形成や資金調達など、政策形成、政策の始動、持続・継続のための方法論や体制、ルール等についての工夫が提案されているもの
- ・提案内容に関わりをもつ各ステークホルダーの視点からも考えられているもの
- ・既存制度や方法論について問題提起や改善提案がなされているもの
- ・本提案に至るプロセスや体制についても工夫があるもの

北村賞(小林審査員/土木計画学研究会委員長が選考)

以下のうち、いくつかの点において優れていること。特に、従来の発想にとらわれない斬新なアイデアを評価する。

- ・対象とする地域の特徴を踏まえたものであること
- ・新しい時代の潮流を捉えたものであること
- ・地域の様々なステークホルダーの立場や参画についての

十分な配慮があること

- ・実践に向けて、制度提案や合意形成、コミュニケーションの方法論にも配慮がなされていること
- ・提案に至る検討プロセスや体制にも工夫があること

◆ スケジュール

①応募受付: 2012年3月16日(金)17時まで

②ポスター提出: 2012年5月7日(月)正午まで

③プレゼンテーション並びにポスター展示:

2012年6月2日(土)(予定)

④審査会: 2012年6月2日(土)

⑤表彰式: 2012年6月3日(日)

(③~⑤は第45回土木計画学研究発表会開催期間中)

◆ 応募資格と条件

- ・2012年3月1日時点で在学中の、学生によって構成されるグループ、または学生個人が応募できます。
- ・一人またはグループで複数の応募をすることができます。
- ・上記の審査会においてプレゼンテーションによる発表並びにポスター展示を行うことができる方に限ります。ポスターは審査会当日に自身で会場まで持ち込んで下さい。

◆ 応募方法

土木計画学研究委員会ホームページ上で応募してください。応募先は後日、ホームページに掲載します。

ポスターをA4サイズ2頁以内に縮小したファイル(pdfファイルで1MB以内)を、上記ポスター提出〆切日までに提出して下さい。提出されたファイルは会議参加者に配布予定のCD-ROMに掲載するとともに事前審査に用います。3MBを超えるファイルは受け付けません。

また、ここで提出されたファイルと異なるポスターが展示された場合には、審査委員会の判断で各賞の受賞資格を取り消す場合がありますのでご注意下さい。

◆ 参加費について

コンペ参加費は1万円/作品とし、1グループについて5名までの土木計画学研究発表会参加費を無料とします。

◆ 諸権利について

- ・応募内容・作品に関する知的財産権は応募者にあります。応募にあたっては、必要に応じ応募者自身で権利保護等の手続きをして下さい。
- ・他者の知的財産権を侵害する疑いがある場合には、受賞を取り消すことがあります。
- ・提出されたポスターならびにその内容の公表・展示に関する権利は主催者が優先保持します。

◆ 問い合わせ先/e-mail: compe@jsce.or.jp

春大会幹事阿比留勝吾(パシフィックコンサルタンツ), 塚井誠人(広島大学), 出村嘉史(岐阜大学)